

日本と中国

Japan and China Friendship Newspaper

昭和42年2月6日第三種郵便物認可/発行/公益社団法人日本中国友好協会

飯田地域版/編集: 飯田日中友好協会/会長: 清水可晴

飯田日中のニュース 2019年 10月号 第315号

<http://www.mis.janis.or.jp/~nihao-iida/>

10月の予定

- 10日(木) 中華人民共和国 70周年講演と祝賀のつどい
／長野市
- 17日(木) 豊丘、阿智合同サロン教室/豊丘村はつらつ
- 19日(土) セミナー棟竣工式並びに
竣工記念シンポジウム/満蒙記念館

帰国者共同墓地の清掃を行いました

9月22日(日)、秋のお彼岸に合わせて、飯伊中国帰国者連絡会と飯田日中主催で、中国帰国者共同墓地の清掃と墓参を行いました。中国帰国者共同墓地は、当時の帰国者の皆さんの要望などにより平成10年に飯田日中友好協会が設置し、以後墓地利用者と飯伊帰国者連絡会が日常の管理を行っています。設置当初は30名を超える納骨希望者がいましたが、現在は8故人の遺骨が納められています。



墓地草取り、墓碑の清掃後、作業に参加された帰国者遺族の皆さんと共に、墓参を行いました。

満蒙開拓平和記念館

★セミナー棟竣工式のご案内

5月から建設をすすめてきました「満蒙開拓平和記念館セミナー棟」がいよいよ竣工の運びとなりました。下記のとおり竣工式が行われます。

日時 2019年10月19日(土) 午前10時より
会場 満蒙開拓平和記念館セミナー棟

★セミナー棟竣工記念シンポジウム

対話から学ぶ歴史と未来

【日本とドイツの引き揚げ者・帰国者の戦後】

第二次世界大戦後、満洲引き揚げと同じように、ドイツにも「ドイツ人追放」という過酷な歴史がありました。お互いの体験に耳を傾け、学び合いましょう。

- ・日時 2019年10月19日(土) 13:00 ~ 16:30
- ・場所: 満蒙開拓平和記念館 セミナー棟
- ・参加費: 記念館入館料 + 500円
- ・定員: 100名 (事前申込制、学生優先枠有)
*申し込みは直接 記念館 (43-5580) へ

【当日スケジュール】

- 13:00 ~ 13:10 開会
- 13:10 ~ 13:40 ドイツにおける引揚げ基礎講話
講師: 木村護郎クリストフさん
- 13:40 ~ 15:40 シンポジウム (途中休憩あり)
パネリスト
- ・ Helga Engshuber (ヘルガさん、チエコから引き揚げ)
- ・ Maria Wethan (マリアさん、ルーマニアから後期帰国)
- ・ Rosemarie Schuran (ローズマリーさんルーマニアから後期帰国)
- ・ 南 誠さん (長崎大学多文化社会学部准教授、祖母が中国残留婦人、自身も中国帰国者)
- 15:50 ~ 16:20 ディスカッション
- 16:20 ~ 16:30 まとめ

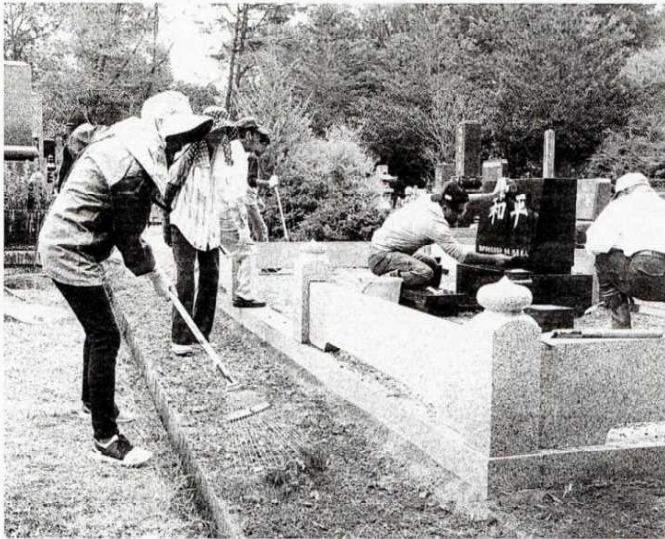
申込/問い合わせ先
満蒙開拓平和記念館
Tel/Fax 0265-43-5580

*駐車場が狭いため、必ず事前の申込みをお願いします。

パネリストのヘルガさん⇒



飯田の帰国者墓地 美しく



墓石を磨き、周りの枯れ葉を集める会員や遺族ら

飯田日中友好協会と中国帰国者、遺族らが22日、秋の彼岸に合わせて、飯田市川路の飯田霊地公園にある帰国者の共同墓地を掃除した。これまでは遺族が個々に手入れしていたが、高齢化が進み、作業が困難に。同協会員ら遺族以外の力も借りての維持管理を始めた。

◆ 墓地は1998年、土地の確保や金銭的な余裕から墓を用意するのが難しかった帰国者のために、飯伊中国帰国者連絡会と協会が寄付を募って建てた。墓石には「和乎」と刻まれている。現在8人が納骨されている。

◆ この日は11人が集まり、鎌で周囲の草を刈り、ブラシで墓石を磨いた。30分ほどで終え、参加者は「きれいになって

日中友好協会員ら遺族の高齢化対応

良かったと安堵。墓前に花と線香を上げ、手を合わせた帰国者2世の松島峰雄さん(66) 飯田市松尾常盤台は、母親が墓に眠る。墓石を見ながら「戦争がない平和な社会を祈っています」と話した。

連絡会長の多田清司さん(80) 同市上郷黒田は「残った2、3世と一緒にきれいな活動に意欲を見せたい。」

2019年9月23日付
信濃毎日新聞より転載

先月9月の活動日誌

- 19日(木) 豊丘サロン教室/豊丘村はつらつ
- 22日(日) 中国帰国者共同墓地清掃

